

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	ナノスケールラボラトリーの創製と深化
研究代表者	村田 靖次郎 (京都大学・化学研究所・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は分子手術という独自の合成手法を用いて、活性分子や金属種をフラーレンの微細な炭素空間中に閉じ込めた分子創成に関するものである。応募者は、関連分野において世界で有数の研究業績を上げており、今後も新規分子を挿入したフラーレン合成とその化学的性質に関する十分な研究成果を上げることが期待される。</p> <p>現時点では片端から様々な分子をフラーレンに挿入し、閉じ込められた分子に関しての化学的性質に関する研究成果を期待する段階であるが、フラーレン自体の特異な物性探索の観点からの顕著な成果が望まれるため、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>